

消防ポンプ自動車（車両総重量 3.5 t 車）

仕様書

令和 7 年度事業

逗子市

逗子市消防本部消防ポンプ自動車仕様書

1 総 則

令和7年度に逗子市が購入する消防ポンプ自動車（以下「車両」という。）は、火災等の災害に必要な装備及び資機材を設け、災害時における諸活動を迅速的確に行える構造とし、諸構造は堅牢で耐久性に富むものとする。なお、公害対策として排出ガスのクリーン化等に配慮した車両とすること。

2 法令適合

日本消防検定協会の検定に合格したものを装備するとともに、道路運送車両の保安基準等関係法規に適合し、緊急自動車として適合するものでなければならないこととする。

消防防災設備整備費補助金交付要綱に規定される消防ポンプ自動車及びその他各種関係法令等に適合するものであること。

3 提出書類

(1) 契約時

製作に先立ち、次の書類を速やかに提出するものとする。

ア 承認図書（消防本部の承認を得ること。） 各3部

（ア）外観図

（イ）ポンプ系統配管図

（ロ）消費電力計算表

（エ）電気配線図

（オ）製作工程表

イ その他必要図書 必要数

(2) 納入時

ア 外観完成図 2 部

イ ポンプ性能表 2 部

ウ 検定協会の検定済証の写し 2 部

エ 取扱説明書 2 部

オ 車両完成後の外観（前後左右）カラー写真 3 部

カ 製作工程別記録写真集（各試験工程含む） 1 部

キ その他必要図書 必要数

※ 状況に応じてデータでの提出を可とする。

4 検査及び保証等

検査は、中間、完成の各検査及び検収とする。

(1) 中間検査は、製作工程表に基づき随時実施する。（部品検査含む）

(2) 完成検査は、本仕様に基づき艤装全般、走行、その他の検査を実施する。

(3) 検収は、本仕様書及び承認図書に基づき総合的な検収を実施する。

(4) 保証期間は、納入後1年とする。ただし、保証期間が1年以上有する場合はこの限りではない。また、期間経過後であっても設計、製作、材質等の不良に起因した不具合については、受注者において無償にて修復すること。

5 その他

- (1) 製作に当たり、疑義が生じたときは、直ちに消防本部と協議のうえ、適正を図ること。
- (2) 製作に当たって、各工程ごとに多角的角度から写真撮影を行うこと。
- (3) 取付品等は、軽量化されたものを採用し、モデルチェンジ等があった場合は、最新で同等以上の機能を有するものを使用すること。
- (4) 検収時、不適合として指摘された箇所及び部品については、直ちに無償で取り替え又は改修を行うこと。
- (5) 車両納入後、消防用車両の安全基準に従い、受注者が逗子市消防本部へ納車講習、安全操作技能講習及び点検整備講習を行うこと。また、講習指導員に係る費用は受注者が負担すること。（実施日及び実施回数は、別途指示するものとする。）
- (6) 車両登録、現行車両の抹消登録及び廃棄並びに緊急自動車使用届出確認書の返納を行うこと。（手続きに関わる費用は、発注者が負担し別途請求する。また、抹消登録及び廃棄する車両は、発注者が別途指示するものとする。）
- (7) 納入時に現有している消防団車両積載品を引取り、適切に処分すること。

6 仕様明細

別添仕様明細書(すべて新規製品のものとする)のとおり。

7 納 車

逗子市消防本部 逗子市桜山2丁目3番31号

8 配 置

逗子市消防団第3分団 逗子市沼間1丁目3番8号

9 納 期

完成車は、令和8年3月31日までに納入すること。

仕 様 明 細 書

車体関係

項 目	仕 様
車両	1 キャブはダブルキャブとし、乗車定員は6名以上とすること。
寸法	2 車両総重量 3.5 t 未満、最大積載量を最大限とすること。 車両登録時の寸法は、次のとおりとすること。
	1 全 長 5,450mm 以下
	2 全 幅 1,850mm 以下
	3 全 高 2,400mm 以下
ミッション	オートマチックトランスミッションとすること。
エンジン	ガソリンエンジン又はディーゼルエンジンとすること。
バッテリー	必要な容量を有すること。
オルタネータ	消費電力を計算し必要な発電量を有すること。
エアコン	純正品とすること。
座席シート	各座席シートは防水性能を有し、汚れた際の洗浄等が容易であること。
ステアリング	パワーステアリングとすること。
ウインドウ	パワーウインドウとすること。
エアバッグ	運転席とすること。
フォグランプ	LED とすること。
その他	1 USB 及び AC コンセントを取り付けること。 2 ドアエッジモールを各ドアに取り付けること。 3 車両付属品一式を有すること。(枚数及び個数は必要数とすること) フロアーマット・停止表示板・ゴム製中型車輪止・工具等 ※ 工具は収納箱付、工具の内訳は別途指示 4 タイヤチェーン (シングル) を有すること。 ※ 収納袋付 (団名記入) 5 ブースターケーブルを有すること。 6 灰皿レス仕様とすること。なお、レス仕様がない場合は灰皿に「小物入れ」と表示すること。 7 ドライブレコーダーを取り付けること。(別途指示) 8 後退警報器は音声合成と連動すること。(別途指示) 9 AM/FM ラジオを取り付けること。 10 サンバイザーを運転席及び助手席に取り付けること。 11 サイドバイザーを各ドア上部に取り付けること。 12 マッドガードを各タイヤハウスに取り付けること。 13 ホイル付きタイヤ (予備タイヤ) を前後各 1 本有すること。 14 手動式 2 面鏡ミラー (運転席側)、電動格納式 2 面鏡ミラー (助手席側) とすること。
消防ポンプ	動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令に規定される A-2 級の性能を有するものとする。
真空ポンプ	1 無給油式真空ポンプとすること。 2 ポンプの残留水を完全に排水する以前に、放水口を開いた状態、放水口を閉じた状態でそれぞれ真空ポンプを作動させた場合、動力の伝達が円滑で、かつ揚水が行えるものであること。
吸水口	吸水口は、ボールコック及びエルボ付 75mm とすること。
配管	冷却水及び放水等において使用する水と接する部分は、耐食性を有する材料を使用すること。

項 目	仕 様
キャブの艤装	1 シャシーメーカーのエンブレムを取り外し、車体前面中央部に消防団章を取り付けること。また、必要があれば取り付け箇所上台座及び補強等の処置を施すこと。 2 キャブ上部の前方に標識灯と一体型の赤色警光灯を取り付け、必要があればブラケット及び台座等を用いること。また、キャブ内の騒音等に十分配慮した構造とすること。 3 車体前部のフロントパネル付近の適当な位置に赤色点滅灯を2つ取り付け、赤色警光灯と連動させること。 4 サイレンアンプをインストルメントパネルの適当な位置に取り付けること。 5 車載型デジタル簡易無線機一式（支給品）の載せ替えを行うこと。（取り付け位置等詳細は別途指示） 6 取付品の配線を新品とし、車両の振動等を考慮した上で断線防止等の処置を施すこと。 7 取付品のヒューズボックスは、運転その他の操作に支障とならない位置に一括して設けること。 8 天井の内張りは、各装置の点検を容易に行うことができる構造とすること。また、サイレン等の音に対して十分な防音処置を施し、発注者が実際に確認し、納得し得るものとする。 9 後部座席前方に握り棒を取り付け、その中央に書類用のボックスを設けること。（サイズは、別途指示。） 10 後部座席下部に収納ボックス等を設け、容易に開閉できる構造とすること。（折りたたみ式） 11 後部座席後方上部に、フック6個を取り付け、防火衣・防火帽6式を常時掛けた状態に耐えられるものであること。 12 運転席前方の適当な位置に、電圧計を取り付け、各部に名称を記入すること。 13 隊員の乗降時の安全を確保するために必要な手すりを設けること。 14 キャブ左右下部の乗降ステップはアルミ縞板張り幅広ステップとし、端部折り曲げ加工を施し、左右キャブ下前輪後部とポンプ室前との分割式ステップとすること。 15 キャビン内ダッシュパネルに大阪サイレン製10連スイッチボックス（SBW-D1）を取付ける事。 16 キャビン内照明灯はシャシ標準品とすること。 17 キャブ内助手席付近及び後部座席左右Bピラーにマップランプを設けること。
車体の艤装	1 艤装は総合的な重量軽減、車両重量のバランスを考慮して製作すること。 2 車両の重要な点検箇所及び主要な部分の点検整備に関して、工具類を使用する為のスペースを確保すると共に、必要箇所には点検口または点検扉を設けること。 3 車両側板端部は人が触れても危険のない構造とし、各ステップはアルミ縞板にて端部を折り曲げ加工した構造とする。また、車体上部はアルミ縞板張りとする。 4 ポンプ室側板は開放式とし、点検手入れが容易に行える構造とする。 5 ポンプ室上部左右は跳ね上げ式の扉付き収納室とし、ボックス内床面には、樹脂製スノコ板を敷くこと。また、間口には上下可動式1段手摺を設け二重巻きホース10本などを収納できる構造とすること。 6 車両後面にはアルミバーシャッター式の器具収納室を設け、内部は1

	段の可動式の棚で仕切ること。間口には落下防止用の可動式1段手摺を設けること。詳細については、別途指示。 7 車体後面左側に展開式の昇降用モデムブルステップを設けること。 8 車体上部は前方及び左右に一段手摺を設けること。 9 車体上部にはアルミ縞板ボックス『外寸：1,200 mm×350 mm×350 mm以下』を設けること。（別途指示） 10 リアフェンダーは丸型とし上部にアルミ小筋板を取付けること。 11 燃料タンク 60L とし、シャシー固有の位置に設けること。 12 牽引フックを車両前後に設けること。（扉無し、許容荷重を明記すること。） 13 車体上部右側にはしご積載装置を設けること。 14 ボディ上部左右前方に旗立てパイプを設けること。パイプは 32mm クラッドパイプとし、支柱は真鍮ダイカストクロームメッキとすること。 15 車両後方左右側面に 10m 吸管を取り付けできること。 16 管鎗は後部左側リアステップ上付近に取り付けること。 17 とび口は左側面吸管上部に 2 本上取り式にて取り付けること。 18 3 本用車輪付ホース背負器は後方シャッター内に 2 個収納できること。 19 昇降用ステップ及び各積載品脱着時に塗装の剥がれる恐れのある箇所には保護用のアルミ板を取り付けること。 20 別紙に掲げる資機材を取り付け、積載すること。詳細については別途打ち合わせを行うこと。 21 各ボックス内は隙間より水が抜ける構造とすること。 22 各操作部（ハンドル、レバー、スイッチ等）には、名称および操作方法等を明記すること。 23 ナンバープレートはボディ後面右上部に取り付けとすること。 24 ドライブレコーダーの配線は、目立たないように天井の内張り及びビラー内を通し、電源は車両の配線から取ること。 25 車輪止を運転席側面下の適当な位置に取り付けること。 26 車体後部の適当な位置に赤色点滅灯を取り付け、赤色警光灯と連動させること。 27 サーチライトは車体前方右側上部、車体後方左側上部に各 1 個取付けること。スイッチは本体付近に取付けること。 28 車体両側下部の適当な位置に路肩灯を設け、車幅灯と連動して点灯させること。 29 マグネット式充電入力コンセントを取り付け、車両のバッテリー補充電が可能な構造とすること。 30 艀装用のメインスイッチを設け、作動方法はキーON とすること。 31 電子サイレン用スピーカーは赤色警光灯内蔵とすること。 32 ポンプ室側面に作業灯を左右各 1 個取り付けること。 33 シャッターボックス内、ポンプ室内、それぞれに室内灯（LED 式）を取り付けること。 34 バックアイカメラを車体後面上部に設け、モニタはキャブ内中央上部のバックミラー部に設けること。モニタは常時映像が映ること。 35 艀装関係のヒューズはブレード型とする。 36 分岐管を後方の適当な位置に取り付けること。詳細については、別途指示。
--	--

塗装	1 車両は、完全なる防錆を施した後、プライマー、パテ及びサフェーサにより地処理を行い、朱色ウレタン塗料にて3回以上の吹き付けを行い熱風乾燥炉にて乾燥させる。塗料はVOC（揮発性有機溶剤）削減、環境負荷物質（鉛など）を一切含んでいない等の環境を配慮したハイソリッドウレタン塗料又は同等以上の塗料を使用すること。 2 収納ボックス内は、赤色に塗装すること。 3 左右ドアに「逗子市消防団第3分団」と白文字で記入すること。 4 左右ボックス扉、後方シャッターに文字入れ施工をすること。サイズ及び文字内容は別途指示。 5 字体は丸ゴシック体とし、貼り文字とすること。サイズは別途指示。
----	--

取付品

品 名	数 量	備 考
電圧計	1	運転席付近
電流計	1	運転席付近
赤色警光灯	一式	(株)パトライト社製 AZD-M1LYFR-RR-53N 又は同等品 標識等に内蔵 標識パネル、色は白に「第3分団」と前面に黒色記入 ※ 字体は丸ゴシック体で、貼り文字
前部赤色点滅灯	2	(株)パトライト社製 LP3-M1-R 又は同等品
サイレンアンプ	一式	(株)パトライト社製 SAP520FBV (マイク付) 又は同等品
消防団章	1	150mm
旗立て	2	訓練旗2本付 (赤地に白文字)
牽引用フック	2	車両前後に許容荷重の表示をすること
書類入れ	1	詳細の内容は別途指示
握り棒	1	キャブ内
フック	6	防火衣及び保安帽用
ドライブレコーダー	一式	常時録画タイプ (記録媒体 microSDHC カード・専用ソフト不要で再生可能・ディスプレイが搭載されたもの。)
後部赤色点滅灯	2	(株)パトライト社製 LPT-3M1R-R 又は同等品
照明灯	2	LED 式
作業灯	2	サーチライト LED 式
路肩灯	2	荷台部 LED 式
庫内灯	一式	LED 式
ステップ	一式	詳細の内容は別途指示
全自動電子バッテリー管理器	一式	車両用
消防団無線及びアンテナ	一式	既存分を移設

積載品 ※発注者と調整し名入れ可能な物品には全て「第3分団」名入れすること。

品 名	数 量	備 考
吸管	2	LF-RS (10m) 又は同等品
吸口エルボ	2	スイベルエルボ又は同等品
吸口ストレーナー	2	
吸管ちりよけ籠	1	
吸管用ストレーナー	一式	ストカゴ+吸管ヒッパラー媒介+ガイドロープセット 16SKGF3P 又は同等品
吸管まくら木	2	ゴム製
吸管ロープ	2	10m
消火栓媒介金具	1	75 mmメスネジ×65 mm差込メス
消火栓開閉金具	1	75 型パールN又は同等品
防火水槽開閉金具	4	T 字型スパナ× 2、防火水槽開閉金具× 2
吸管スパナ	2	
管そう	2	PP-65A・550SF× 2 又は同等品
ノズル	3	NV-65PCX× 2、TRP-65N× 1 又は同等品
とび口	2	
金てこ	1	1.5m以上のもの
角スコップ	5	
剣スコップ	5	
車輪止	2	ゴム製
消火器	1	自動車用 ABC 粉末 20 型
ポンプ工具	一式	収納袋付
タイヤチェーン	一式	収納袋付 (団名記入)
消防用ホース	35	65 mm (使用圧 1.6MPa 以上) ※ ホースの文字記入は別途指示するものとする。
充電式カッター	一式	マキタ CE090DZ (パワーソースキット 2 含む。) 又は同等品、付属品マキタ A-70792× 2、A-71607× 2、切断砥石用フランジセット品 A-70281× 1、A-53877× 6 又は同等品
チェーンソー	一式	マキタ MUC254HDGR 又は同等品 付属品 (替刃 1 及び棒ヤスリ 1)
はしご	1	鋼管製二つ折はしご
分岐管	1	65 mm差込メス×65 差込オス (2 口) 2 レバー
ホースブリッジ	2	スーパーL 又は同等品
トランジスタメガホン	2	TS-534L B-2776 拡声器 TD501Y 又は同等品 (ウエストポーチ付)
おの	1	
掛矢	1	
トランシーバー	5	FTH-314 又は同等品 (充電電池及び充電器付)
ホースバッグ	2	大型ホースバッグⅢV2 又は同等品
ホースバンド	5	
ワイヤー	2	10 mm×10m (収納袋付)
誘導棒	2	LED タイプ (防塵、高耐衝撃) 充電電池及び充電器付
低水位吸水装置	1	ディスクストレーナー型

ガンタイプノズル	2	流量可変型、ホース接続口径 50mm 又は 65mm (50mm の場合は媒介金具 (65×50) を付属)、アルミ合金
平バール	1	全長 900mm 以上
牽引ロープ	一式	破断張力 6 トン以上、長さ 1.8m 以上 (伸長時 4.0m 以下) 安全フック付、防水布袋
油圧ジャッキ	一式	メルテック油圧 2 t フロアジャッキ又は同等品
可搬ウィンチ	1	リバティ X-5 又は同等品
布担架	1	SB-160A 又は同等品
投光器	一式	LED サンサンライト (専用三脚含む。) 又は同等品
アルミ製ボックス	一式	必要数とする
ポータブル電源	一式	Anker ソーラーパネル Solix PS100 Portable Solar Panel グレー A24340A1 又は同等品
セーフティーコーン	5	折り畳み式
ホース背負器	2	MAC-003 (3 本用車輪付) 又は同等品
背負い式ポンプ	3	手動式 (ジェットシューター)
タブレット端末	一式	カメラ及び Bluetooth 機能付き タブレットケース (耐衝撃) 及び三脚付き